

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和5年度			
事業番号	76	事業名	高齢者支援ネットワーク事業 (大事業名) 包括的支援事業		担当課		長寿課		
					予算区分(款-項-目-中事業)		3-2-1-3 高齢者支援ネットワーク事業		
					決算書ページ		26	~ 27	介護
総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	介護保険法第115条の44第1項第2号から第5号に定める事業を包括的支援事業として実施する。平成29年3月から開始した介護予防・日常生活支援総合事業と併せて、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援体制を構築する。この1つとして、在宅医療・介護連携推進事業が位置づけられており、医療と介護の連携を深めるため、電子連絡帳の活用や多職種の研修等の在宅医療介護連携事業を行う。			
	政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり						
	施策	(1)	くらしを支える生活基盤の充実						
	開始年度	平成30年度							
その他	終了予定年度	<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			
	根拠法令等	介護保険法							
	関連計画	第9期高齢者福祉・介護保険事業計画							
I 基本情報	アウトプット(詳細はⅡへ)				アウトカム(詳細はⅢへ)				
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
	【対象】 <input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 約1,200人 【事業内容】 医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、医療・介護・福祉各専門職のネットワークを強化するため、多職種の連携を促進します。		【アクションプラン指標】 多職種連携事業参加者数(単年) 【その他の指標】 多職種連携事業実施回数(単年)		市内の医療・介護・福祉各専門職が交流する機会が生まれ、日頃の業務においても、相談や情報共有のしやすいネットワークの構築につながる。 (成果指標名) 多職種連携事業参加者数(単年)の増加		大 事 業 共 通 地域包括ケアシステムの中で、自助・互助・共助・公助の各機能が最大限発揮され、高齢者になっても自分らしく暮らせる街となる。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 多職種連携事業参加者数（単年）	人	基準値 914	見込	1,040	-	-	-	-
			目標値 1,040	実績	1,022	-	-	-	-	-	
2	【その他指標】 多職種連携事業実施回数（単年）	回	基準値 -	見込	20	20	20	20	20	20	
			目標値 -	実績	27						
3	【その他指標】 多職種連携事業参加者数（単年） ※R6年度～アクションプラン事業ではなくなった。	人	基準値 -	見込	-	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	
			目標値 -	実績	-						
4			基準値	見込							
			目標値	実績							
エピソード											
事業開始からの経緯											
平成30年度から在宅医療・介護連携推進事業の一環として開始した。医療と介護の連携を深めるため、テーマを絞った交流を実施したり、連携の推進につながる題材を扱った研修を年間20～30回程度実施している。											
R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
地域ケア会議5回、入退院支援部会4回及び多職種連携推進交流部会関連18回を開催し、延べ1,022人が参加した。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名 (中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標									
		多職種連携事業参加者数 (単年) の増加		人	R1 年度	▶	R3 年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R7 年度	▶	R9 年度	
					914	930	1,022	1,050	1,050					
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						R1～R5年度までの実績値に基づき推計 (前期アクションプランにも掲載)					
	評価の理由、分析													
	コロナ禍の終息により、研修の実施回数及び参加者数が増加してきており、現状以降の目標値を達成できる見込があるため。													
	加える変化 (ACTION)	今後の方向性 (3年～5年先)			今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止			多職種の連携が進んできており、現状を維持しながら開催していく。								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性(PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位: 千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度		
		A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算	
			C. 縮小 D. 廃止		24,335	22,176	18,755	22,308	17,340	
		理由		特定財源	合計額	12,359	11,353	9,248	10,729	6,936
		医療・介護の連携を進める上で、必要な交流及び研修の場となっているため。			(内 国費)	8,239	7,569	6,165	7,153	5,202
					(内 県費)	4,120	3,784	3,083	3,576	1,734
					(内 諸収入)	0	0	0	0	0
					(内 その他)	0	0	0	0	0
		積算額		一般財源	11,976	10,823	9,507	11,579	10,404	
		未定		R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) > 在宅医療・介護連携支援センター業務委託 8,080,000円 (8,080,000円)						
		3年間の推移								